

「泉大津市こどもの読書活動推進計画(案)」
に対するパブリックコメントの結果について(報告)

- 1 募集期間 令和5年12月8日(金)～令和6年1月9日(火)
 2 提出方法 郵送、ファックス、電子メールまたは閲覧場所に設置した意見提出箱に投函
 3 提出人数 13名
 4 意見提出件数 24件
 5 意見概要及び市の考え方

※小学校3年生以上で習う漢字にのみルビ

No.	意見・提言の概要	市の考え方
1	マンガで読みやすかったが、本を読ませるためにどうするかよりも、本を読まなかった人が読もうと思ったときにどんな環境だと読みやすくなるのかを考えてほしい。	計画のコンセプトについて 現在、このような計画があることを大人にもほとんど知られていないこと、加えて多くのこどもに自分たちのための読書の計画があることを知ってほしいという思いから少ないページ数とマンガで表しました。
2	泉大津市の人にもっと本を読む人がふえてほしいと思う。	大人が行う環境の整備の部分については、最後のページと二次元コードの先で見ただけするようにし、できるだけスリムにまとめました。
3	本を読むのが苦手という人も、本を一度手に取ってシープラをさらに楽しんでほしい。	また、図書館で新たに取り組んでいくことを中心に載せるとともに、多くの大人にかかわってもらいたいという思いから、市役所の様々な課に連携、協力してもらえよう、大きな枠組みで表しました。
4	時々「本も読んでくださいね」とよびかけるのもよいと思う。	「子どもの読書活動の推進に関する法律」の基本理念にしたがって、読書環境整備をだれがどのように進めるかを中心に載せました。
5	まちぐるみ図書館は便利そうだが、汚れたりとられたりするのではないかと思います。「みんながさわっているから汚い。読まないほうがよい」と思う人も多いのではないかと。	まちぐるみ図書館について 様々な場所と状況に応じて、図書館からサポートすることで、快適に活用していただけるよう取り組みます。
6	マンガでわかりやすくよかった。こどもが身近に感じられる「知のサイクル」の例があってもよいと思う。	知のサイクルの例えについて 読みやすさが最も大事だと考えて少ないページにしたため、マンガ部分には載せる

		<p>ことができませんでした。しかし、二次元コードの先に示しておりますように、ディベートや調べる学習コンクールの開催など、具体的な取り組みを行い、SNS等皆様に広く知っていただきたいと考えております。</p>
7	<p>本を読む人の割合が少なくなっていると感じる。図書館に友だちと来るような仕掛けがあると本を読む人がふえると思う。</p>	<p>タイトルについて こどもたちから「友達と一緒に楽しみたい」というキーワードが多く寄せられました。</p>
8	<p>「たくさんせいぞろい」というタイトルがよい気がした。</p>	<p>本を読むことや本を読む場所を友達と共有したいという思いを反映させ、その実現に向けて「キミと、よみドキッ!」というタイトルにしました。</p>
9	<p>DVD、パズルなどがあるといい。</p>	<p>図書館の環境整備について</p>
10	<p>恋愛系のマンガ、小説、占いなどの本がたくさんあるとうれしい。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、学び・協働・創造していくためのよりよい空間づくりを行っていきたいと考えています。</p>
11	<p>椅子と机が足りない。</p>	
12	<p>スマートフォンを設置し、マンガアプリを入れてほしい。</p>	
13	<p>仮眠スペースを作ってほしい。</p>	<p>図書館の環境整備について 専用のスペースはございませんが、今年からパフォーマンス向上のため「ちょい寝」の取り組みを行っておりますのでご活用ください。</p>
14	<p>自分のスマホから本の検索ができるようにしてほしい。</p>	<p>図書館の環境整備について 図書館ホームページトップで資料検索が簡単にできるようになっておりますのでご活用ください。</p>
15	<p>シープラのアプリを作り、空席状況をサイトで知れるようにしてほしい。</p>	<p>図書館の環境整備について 図書館ホームページトップで座席の混雑状況を4段階で表示しております。ほぼリアルタイムで更新しておりますのでご活用ください。</p>
16	<p>図書館の排架図もマンガ説明してあるとわかりやすい。</p>	<p>図書館の環境整備について 児童コーナーの棚表示はキャラクターイラストを使用しております。全体の排架図に</p>

		も活かしたいと思います。
17	とても読みやすく、絵も一緒に書かれていてよかった。	貴重なご意見ありがとうございます。 本計画でこどもの読書活動推進が活発になるよう活動してまいります。
18	短いマンガであるが、読書を通じたこどもたちの将来の姿が現れているのが素晴らしい。(単に心の豊かさではなく、「知る・学ぶ・創造する」の学びのサイクルとこどもたちの可能性が示されている点)	
19	シープラができて、以前より図書館を利用することがふえた。計画もこどもだけでなく大人も読みやすくてよい。	
20	こどもたちが親しみやすいマンガで計画のエッセンスが分かりやすく表現されているのがよい。	
21	計画全体として当事者の視点を大切にしている点、計画の策定過程でも当事者が関わるように努めた点について非常に感銘を受けた。	
22	環境整備担当一覧として挙げられている項目は、具体的でわかりやすいので実現へのアクションにつながりやすいと思った。	
23	他の多くの自治体の子ども読書活動推進計画は、読書のインプット面が強調されるが、この計画はアウトプットできる取り組みのことが書かれていることから、「知る・学ぶ」から知の創造までを見通して考えられる点が素晴らしい。	
24	サポート人材の育成について、学校図書館長が学校長ということを確認にして、その役割を具体的に書かれていることや、読むことの多様性をこどもに伝える人材の育成について書かれている点が特によいと思った。	